

報道各位

平成28年12月1日
新潟市文化創造推進課

「新潟、東京、沖縄で育まれた伝統芸能の共演」および
「文化プログラムシンポジウム in 新潟」の開催について

○趣 旨 東京五輪に向けた「東京 2020 文化オリンピック」として、文化庁が主催する「新潟、東京、沖縄で育まれた伝統芸能の共演」および「文化プログラムシンポジウム in 新潟」を本市で開催する。

○日 時 平成28年12月18日（日）
14：00開演「新潟、東京、沖縄で育まれた伝統芸能の共演」
16：00開演「文化プログラムシンポジウム in 新潟」

○会 場 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 能楽堂
(新潟県新潟市中央区一番堀通町3-2)

○内 容 別紙「新潟、東京、沖縄で育まれた伝統芸能の共演」チラシおよび
『文化プログラムシンポジウム in 新潟』の開催について」参照

○お問い合わせ先

「新潟、東京、沖縄で育まれた伝統芸能の共演」について
りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
電話025-224-5521

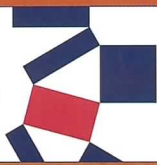
「文化プログラムシンポジウム in 新潟」について
アーツカウンシル新潟
電話025-234-4530

【担当課】

新潟市文化創造推進課

担当：森、丸山

電話025-226-2554（直通）



新潟、東京、沖縄で 育まれた伝統芸能の共演

Special Joint Concert of Traditional Dance and Music
from Niigata, Tokyo, and Okinawa

第3弾 in 新潟

りゅーとぴあ 能楽堂



琉球舞踊「かじやでいふう」ほか
玉城節子(玉城流翔節会)



日本舞踊「うしる面」ほか
市山七十世(市山流)



三曲「吾妻獅子」
柴川敏子(生田流)

2016年12月18日(日) 14:00開演(開場13:30)

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 能楽堂 新潟県新潟市中央区一番堀通町3-2

Dec 18, 2016/14:00 Ryutopia Noh Theater *Presented in Japanese only

全席自由 入場料: **5,000円(税込)**
未就学児入場不可

発売日: N-PACmate(友の会)先行/11月3日(木・祝)
一般/11月4日(金)

お取扱い: りゅーとぴあ(電話・窓口・オンライン)

チケット専用ダイヤル 025-224-5521 (11:00~19:00/休館日は除く)

オンラインチケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>



ナビゲーター
葛西聖司

第1弾
in
沖縄

2016年12月4日(日)
17:00開演

波上宮(なみのうえぐう)

沖縄県那覇市若狭1丁目25-11



第2弾
in
東京

2016年12月17日(土)
14:00開演

回向院(えこういん) 念仏堂

東京都墨田区両国二丁目8番10号



「和の空間」で、気軽に日本の芸能を。

NIIGATA
新潟(日本舞踊)

OKINAWA
沖縄(琉球舞踊)

TOKYO
東京(三曲)

昔、日本人は神社やお寺などで、様々な芸能を楽しんでいました。全国に存在する“和の空間(パワースポット)”で、もう一度、伝統芸能を気軽に楽しめる日本にしよう。そんなプロジェクトの開幕です。今回は、新潟・東京・沖縄で育まれてきた芸能が、三都市で、多様な和の空間で共演。3つの芸能が一堂に会することは珍しく、おそらく史上初めて。見比べることで、他の地域の芸能はもとより、当地の芸能の魅力も、ぜひ再発見してください!

演目

日本舞踊

「うしろ面」

新潟市山流の伝承曲と代々受け継がれている作品で、後頭部に狐面をつけ、一瞬の内に尼僧と狐の二役を演じ分ける高度な技法を見せるのが特徴です。江戸時代に歌舞伎変化物の早変わり所作事として誕生しましたが、歌舞伎では引き継がれず、その後新潟市山流の加茂市の芸妓に伝承されました。近年、先代市山七十郎が監修して復活。加茂市ではこれを市の無形文化財に指定しています。

立方 市山七十世 後見 市山七百歳

「相川音頭」

佐渡の民謡で唄は沢山ありますが、その中から昭和38年に市山流宗家市山七十郎が三人立で日本舞踊として振付けた作品。唄われているのは源平合戦の物語で、新潟芸妓が黒の着流しの衣裳で義経に扮し、戦いの様子から弓流の場面や波の満ち引きを表現し、スッキリとした形できっぱりとした動きで踊ります。

立方 市山七十奈緒 市山七十凌香 市山七十華世 他古町芸妓連中

唄 東音大森多津子 東音竹内あき 東音守屋沙弥香
三味線 東音岩田喜美子 東音秀鳥いづみ 東音植松美名
鳴物 望月初寿三 望月喜美 梅屋巴 藤倉千穂 福原洋子

三曲

「吾妻獅子」

十八世紀末に作曲された、峰崎勾当の三弦手事作品代表曲の一つです。「伊勢物語」を背景に、西から東へ下った男が吉原へ行き、美しい女性との別れを惜しみ、扇をかざして獅子舞を舞うといった内容です。恋に狂う様子を獅子の乱れ舞う姿とかけ華やかに作曲されました。この峰崎勾当作曲の唄と三弦に対して、争は米川敏子の祖父米川琴翁による作曲です。

箏 米川敏子 三弦 大学敏悠 吉田敏乃 尺八 川瀬庸輔

琉球舞踊

「かじゃでいふう」

沖縄で祝賀の時の座開きとして踊られる祝儀舞踊で、数ある演目の中でも人々に最も敬愛され親しまれている古典舞踊。人生最大の喜びを満開の花ではなく、蕾の花がまさに開こうとする風情にたとえ、朝露を受けさせることで自然のみずみずしい感性を表現しています。

立方 玉城律子 山田直季 地方 大城貴幸 與那國太介 平良大

「柳」

『柳』(やなぎ)は、柳やばたん、梅を採物にし、それを一つずつ持ちかえて踊るといふ古典女七踊りの一つ。柳は緑、花は紅が美しい、そして人にとって最も大切なのは心、情けであり梅はその匂いによって尊ばれる、という自然の摂理と人情を表現した踊りです。

立方 玉城節子 地方 大城貴幸 與那國太介 平良大

「猿引き」

組踊り「花売之縁」の演舞中に登場する猿引きの一場面の踊り。北山王国時代、今帰仁城に軍が押し寄せた時の戦いの様子を歌った狄堂口説に合わせ、猿の恰好をした踊り手が三線と歌で長刀を持ってテンポよく踊る、可愛らしい踊りです。

立方 島尻ひさみ 山田直季 地方 大城貴幸 與那國太介 平良大

「打組 加那ヨ一」

恋する男女の様子を表現する打ち組み踊り(雑踊り)。踊りは悩み苦しむという設定ではなく、愛を確信する女性の喜び、心の躍動が描かれています。随所に技巧に富む自由奔放な振りがみられます。

立方 玉城節子 玉城律子 地方 大城貴幸 與那國太介 平良大

出演者

市山 七十世 (市山流)

いちやま・なそよ

日本舞踊市山流七代目家元。母である先代宗家市山七十郎の薫陶を受け、女流舞踊家の第一人者として、日本舞踊協会・国立劇場主催公演等、地元新潟市はもとより東京、大阪でも多数出演し活躍。歌舞伎座、国立劇場等の歌舞伎公演での振付を担当。今回演じる「うしろ面」の上演の成果で文化庁芸術祭賞を受賞。新潟古町芸妓の舞踊指導も担当し新潟市無形文化財第一号に認定。

米川 敏子 (生田流箏曲)

よねかわ・としこ

米川琴翁、初代米川敏子(文化功労者・人間国宝)に師事。NHK邦楽技能者育成会卒業。芸術選奨文部科学大臣賞他多数受賞。紫綬褒章受章。日本芸術院賞受賞。研箏会五代目家元。(公社)日本三曲協会常任理事。創部21理事長。(公財)日本伝統文化振興財団評議員。「月彩」(つきあや)、「海-たゆとふ-」他作品多数。

玉城 節子 (玉城流)

たまぐすく・せつこ

沖縄県那覇市生まれ。沖縄を代表する女性舞踊家。5歳より玉城盛哉に師事し琉球舞踊を本格的に学ぶ。1963年(昭和38)琉球舞踊大賞グランプリ受賞。2005年(平成17)より沖縄伝統舞踊保存会会長。09年(平成21)重要無形文化財「琉球舞踊」総合認定保持者となり、同時に設立された琉球舞踊保存会の会長に就任。舞踊を中心とした国内外でのさまざまな文化的活動や、後継者育成に積極的に取り組んでいる。玉城流翔節会を主宰、一般社団法人沖縄県芸能関連協議会副会長。

葛西 聖司

かさい・せいじ

アナウンサー、古典芸能解説者。東京都生まれ、中央大学法学部卒業。NHKエグゼクティブアナウンサーとしてテレビ、ラジオのさまざまな番組を担当。現在はその経験を生かし、歌舞伎など古典芸能の解説や講演、また日本伝統文化の講義などで大学の教壇にも立ち、朗読教室や執筆活動も続けている。著書に『文楽のツボ』(NHK出版)、『名セリフの力』『歌謡曲の力』『ことばの切っ先』(いずれも展望社)ほか。

関係団体

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

[略称:芸団協(げいだんきょう)]

俳優、歌手、演奏家、舞踊家、演芸家、演出家、舞台監督などのあらゆる芸能分野の実演家団体、スタッフや制作者等芸能関係68団体(傘下の実演家は約90,000人)を正会員とする公益法人。芸術文化の発展に寄与することを目的に1965年(昭和40)に設立。2012年(平成24)に公益社団法人認定。
<http://www.geidankyo.or.jp/>

公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

芸術活動に親しみ、積極的に参加している新潟市民は幅広く、高い芸術性を求めた活動も活発になっている。当財団は1991年(平成3年)に設立され、開館より新潟市民芸術文化会館の管理および運営を行うほか、市民の芸術・歴史文化の創造活動を支援・助成。世界への発信基地をめざす新潟市の発展に寄与している。2012年(平成24年)年、公益財団法人認定。<http://www.mmjip.or.jp/nc-acpf/>

問い合わせ りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 025-224-5521 (開館日11時~19時)

主催事務局 日本芸能実演家団体協議会 03-5909-3060 (平日10時~18時)

文化庁
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS

GEIDANKYO

りゅーとぴあ
新潟市民芸術文化会館

平成28年12月1日
新潟市文化創造推進課

東京2020文化オリンピック
「文化プログラムシンポジウム in 新潟」の開催について

1. 目的

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を4年後に控え、世界の目がますます日本に向けられる中、我が国の豊かで多様な文化の蓄積を我々自身が再確認し、資源として活用し、世界に向けて発信していくことが求められています。

この秋から取り組みが始まったオリンピック文化プログラムを推進するため、本シンポジウムでは、文化プログラムの企画に求められるストーリーづくりと地域文化の蓄積などについて考える機会とします。

2. 開催概要

- (1) 日 時：平成28年12月18日（日）16時～18時
- (2) 会 場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 能楽堂
(新潟県新潟市中央区一番堀通町3-2)
- (3) 申込み：先着200人（入場無料、電話による事前申し込みが必要）
新潟市役所コールセンター 025-243-4894
- (4) 主 催：文化庁
- (5) 共 催：新潟市、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団
- (6) 協 力：アーツカウンシル新潟、新潟市文化・スポーツコミッション

3. プログラム

- | | |
|--------|---|
| 16時00分 | 開演・主催者挨拶 磯谷桂介 文化庁長官官房審議官 |
| 16時10分 | 基調講演「地域文化発信のためのストーリーづくり」
<講演者> 竹内佐和子 文部科学省顧問/
前パリ日本文化会館館長 |
| 16時50分 | 休憩（10分間） |
| 17時00分 | シンポジウム「新潟の地域文化の価値の再発見と世界への発信」
<パネリスト>
竹内佐和子 文部科学省顧問/前パリ日本文化会館館長
野内隆裕 路地連新潟メンバー/日和山五合目館長
小林昌二 みなとぴあ 新潟市歴史博物館館長/
新潟大学名誉教授
篠田 昭 新潟市長
<モデレーター>
杉浦幹男 アーツカウンシル新潟プログラムディレクター |